

〔別紙〕

様式 1

1430

事業報告書

(自 令和5年5月1日 至 令和6年4月30日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 滋 光 会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 愛知県西尾市西幡豆町西見影 3 5 番地 6

(3) 設立認可年月日 平成 1 4 年 1 2 月 3 日

(4) 設立登記年月日 平成 1 4 年 1 2 月 6 日

(5) 役員

	氏 名	備 考
理 事 長	黒部 直樹	黒部眼科管理者 医師
理 事	黒部 理恵子	
同	黒部 理恵子	くろべ歯科管理者 歯科医師
同	酒向 文	
監 事	相浦 涼子	

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する診療所の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診 療 所	黒部眼科	西尾市西幡豆町西見影 3 5 番地 6	0 床
医療機関コード: 2313201473 診療科目: 眼科			
診 療 所	くろべ歯科	西尾市西幡豆町西見影 2 6 番地 1	0 床
医療機関コード: 2333201131 診療科目: 歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科			

(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務)

なし

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

なし

(4) 当該会計年度内に社員総会で議決又は同意した事項

令和5年6月30日 定時社員総会 令和4年度（第21期）決算の決定

令和6年1月10日 臨時社員総会 定款の変更（事務所並びに診療所の所在地変更）

令和6年4月27日 定時社員総会 令和6年度（第23期）事業計画及び収支予算の決定

(5) 当該会計年度内に開設した施設

令和6年3月13日 黒部眼科開設許可（愛知県西尾保健所）

令和6年4月1日 黒部眼科 診療所を移転し開院 西尾市西幡豆町西見影35番地6

(5) その他

当該会計年度内の医療機器の購入又は新規リース契約

① 購入 黒部眼科 中古マルチカラーキャンパターンレーザー 1台
くろべ歯科 なし

② リース契約 黒部眼科 眼科手術用顕微鏡システム 1式
3次元眼底画像撮影装置 1式
レフケラトメーター 1式
スリットランプ デジカメ式 1式
走査型超広角眼底撮影装置 1式
白内障手術用超音波ハンドピース 1式
光学式眼軸長測定機 1式
自動視野計 1式
オートクレーブ、電動患者椅子、その他
くろべ歯科 なし

様式 3 - 2

法人名 医療法人 滋 光 会
所在地 西尾市西幡豆町西見影 3 5 番地 6

※医療法人整理番号 1430
(※ 上記は記載する必要なし)

貸 借 対 照 表
(令和6年4月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	37,823	I 流 動 負 債	61,329
II 固 定 資 産	136,769	II 固 定 負 債	72,674
1 有 形 固 定 資 産	61,100	負 債 合 計	134,003
2 無 形 固 定 資 産	1,678	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	73,991	科 目	金 額
		I 出 資 金	37,000
		II 積 立 金	3,589
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		純 資 産 合 計	40,589
資 産 合 計	174,592	負 債 ・ 純 資 産 合 計	174,592

様式 4 - 2

法人名 医療法人 滋 光 会
所在地 西尾市西幡豆町西見影 3 5 番地 6

※医療法人整理番号 1430
(※ 上記は記載する必要なし)

損 益 計 算 書
(自 令和5年5月1日 至 令和6年4月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	186,342
2 事業費用	201,767
事業損失	△ 15,425
II 事業外収益	2,525
III 事業外費用	1,255
経常損失	△ 14,155
IV 特別利益	
V 特別損失	269
税引前当期純損失	△ 14,424
法人税等	182
当期純損失	△ 14,606

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 2

法人名 医療法人 滋 光 会
所在地 西尾市西幡豆町西見影 3 5 番地 6

※医療法人整理番号 1436
(※ 上記は記載する必要なし)

財 産 目 録
(令和6年4月30日現在)

1. 資 産 額	174,592 千円
2. 負 債 額	134,003 千円
3. 純 資 産 額	40,589 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	37,823
B 固 定 資 産	136,769
C 資 産 合 計 (A + B)	174,592
D 負 債 合 計	134,003
E 純 資 産 (C - D)	40,589

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人 滋 光 会
所在地 西尾市西幡豆町西見影35番地6

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(自 令和5年5月1日 至 令和6年4月30日)

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員の近親者が代表 者である法人	(有)シゲオコー ポレーション (注)1	愛知県西尾市西 幡豆町	49,907	医療用具等の販 売、不動産賃貸 他	物品等の購入	医療消耗品等の購入 (注)2	18,956	買掛金	5,692
					業務委託	業務委託、施設管理、 リース(注)3	65,510	未払金	9,115
					不動産の賃借	診療所建物、駐車場の 賃借料の支払い (注)4	1,567	差入保証金	1,540
					資金の一時借入	資金の借入(注)5	27,000	短期借入金	5,000
						資金の返済(注)5	22,000		

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1. 当法人理事長黒部直樹の甥が代表取締役である法人
(注) 2. 医療消耗品等の購入に関する取引価格は、市場価格を勘案して決定し、支払い条件は月末締翌月25日払いとしている。
(注) 3. 受付事務他各種業務委託に関する取引価格は、同業他社価格を勘案して決定し、支払い条件は月末締翌月25日払いとしている。
(注) 4. 診療所建物の賃借については固定資産評価額をもとに決定し、駐車場は1台に月3000とし、賃貸借契約を締結している。
(注) 5. 資金の一時借入については、金利年2%とし、借入残高5,000千円は進行情期において完済している。

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	黒部直樹	医師	当法人の理事長	資金の借入(注)1	960	役員借入	12,948
				資金の返済(注)1	606		

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1. 資金の借入は、一時借入によるものであり当該借入に係る利息の支払いはしていない。
なお返済期限なし、返済金額については双方協議のうえその都度決定している。

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 滋 光 会
理事長 黒 部 直 樹 殿

私は、医療法人滋光会の第22期（令和5年5月1日から令和6年4月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (5) 新型コロナウイルス蔓延以降、外来患者及びOPE件数が年々減少傾向にあり、損益は4期連続の損失計上となったが、令和6年4月に診療所を移転しDrを迎え、以後OPE患件数の増加に伴い来期以降の収支は回復が見込まれる。
- (6) 関係会社間での資金貸し借りは今後しないように助言しました。

以上

令和6年6月22日
医療法人 滋 光 会
監 事 相 浦 涼 子